

11. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (沖縄)	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	百貨店（営業企 画）	販売量の動き	・前年同月に関しては、消費税増税前の駆け込み需要があったが、本年は前年比3%増の売上を確保できている。特にインバウンド効果としては、全体売上の5%となり、前年同月比で7倍となっている。
		旅行代理店（マ ネージャー）	販売量の動き	・前年度より、わずかながら販売量が多い。
		観光名所（職 員）	来客数の動き	・外国人客が増加している。
		ゴルフ場（経営 者）	来客数の動き	・以前と異なり、集客活動を頻繁にしたというわけではなくても自然に利用人数が増加してきている。
		その他のサービ ス〔レンタ カー〕（営業担 当）	来客数の動き	・前年の3月は、消費税増税前の駆け込み需要等もあり比較できないが、前々年と比較しても、貸渡し件数が110%と好調に推移している。特に外国人観光客の利用が伸びている。
	変わらない	一般小売店〔菓 子〕	販売量の動き	・販売量は、入域観光客数に比例して伸びているわけではない。
		コンビニ（経営 者）	お客様の様子	・まとめ買いをする客が減っている。必要な商品だけ買っている様子が見える。
		コンビニ（経営 者）	来客数の動き	・客単価は、前年の消費税増税前の駆け込み需要の影響で前年の4%減であるが、来客数は前年の4%増なので3か月前と変わらず推移している。
		コンビニ（エリ ア担当）	お客様の様子	・競合店出店等による環境の変化により、客数の増減はあるが、客の購買意欲は変わらない。価値のある商品はやや高くても販売につながっている。
		衣料品専門店 （経営者）	お客様の様子	・来客数はだんだんと増えてきているが、購入には慎重である。
		観光型ホテル （マーケティング 担当）	販売量の動き	・稼働率が、前年同月実績に比べ3か月前とほぼ同様のマイナス幅で推移している。ここ2～3か月の稼働率は、前年実績を下回って推移している。
		住宅販売会社 （代表取締役）	来客数の動き	・現在、手持ち工事はあるが、個人住宅に関する相談件数が減少傾向にある。
	住宅販売会社 （営業担当）	来客数の動き	・前年と同程度の来場者数になっている。	
	やや悪く なっている	スーパー（販売 企画担当）	販売量の動き	・前年4月の消費税増税に伴う駆け込み需要が前年の3月にあり、今年はその反動もあり厳しくなっている。
家電量販店（総 務担当）		販売量の動き	・消費税増税前の駆け込み需要の反動がある。	
その他専門店 〔楽器〕（経営 者）		販売量の動き	・売上は年々減少している。問い合わせや修理、消耗品備品は少し増えている。観光客の増加や、建設業界は大手がビル建設や大型ホテルにショッピングセンターの新設などで盛況であり、県内景気は良くなっていきそうな雰囲気である。しかし実際は観光客の増加と言っても、外国人客や本土リピーター客の増加であり、インターネットでの価格競争などで現状はまだ厳しい。	
その他飲食〔居 酒屋〕（経営 者）		それ以外	・観光客の増加や、大型ショッピングセンター等の出店で経済の動きは感じられるが、こと飲食業に関しては、人件費の高騰や食材の値上がりにより、なんとか売上目標は達成できても、利益目標を達成できていない。	
悪く なっている	商店街（代表 者）	単価の動き	・街の中に外国人客や県外客は来ているが、なかなか販売に結び付かない。人通りはあるが売れない現状に小売店は大変困っている。	
企業 動向 関連 (沖縄)	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	食料品製造業 （総務）	受注量や販売量 の動き	・春の行楽シーズンで入域観光客数が増加している。引き続き中国、東南アジアからの観光客によるお土産購入や飲食関係が好調と聞いている。
		窯業・土石製品 製造業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・公共工事向けは前年比増、民間向けは前年比減、全体でやや増となっている。
建設業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・高額な契約及び申込が増えている。		

		輸送業（営業）	受注価格や販売価格の動き	・県内への大型ショッピングモール出店に伴い、本土からの貨物物量が増えている。また、運賃についても県内市場に合った適正価格での受注となっている。
	変わらない	通信業（営業担当）	取引先の様子	・仕事の確保は十分できており、若年層の採用も続いている。受注単価は上昇する様子は無いので景気は変わらない。
	やや悪くなっている	-	-	-
	悪くなっている	-	-	-
雇用関連 (沖縄)	良くなっている	求人情報誌制作会社（編集室）	求人数の動き	・3月の求人件数は週平均1146件である。前年12月と比較すると325件増であった。時期的な要素も大きいので単純に数字の比較だけでは分析できないが、前年同月と比較すると求人意欲は上昇している。
	やや良くなっている	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・新規依頼や、過去のユーザーからの数年ぶりの派遣依頼があり、受注数が増えている。特別に年度末の短期間の業務と言うことではなく、中長期の派遣依頼も多い。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	周辺企業の様子	・仕事の受注が増えて人材が不足しているとのことである。景気が回復傾向にある。
	変わらない	学校〔大学〕（就職担当）	雇用形態の様子	・契約社員から正社員登用の期間が短縮、又は正社員採用へとシフトチェンジした企業が出てきている。
		人材派遣会社（総務担当）	求職者数の動き	・外国人観光客の増加による販売関連の人手不足や、大手流通業では本島中部圏での大型施設の建設に伴い発生する建設関連や新店舗開店先の人手不足がかなり懸念されている。人手不足による影響かどうかは判断しづらいが、弊社の派遣登録者数が伸び悩んでいる現状がある。
やや悪くなっている	-	-	-	
	悪くなっている	-	-	-